

# 令和5年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校（保健体育）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

### 注 意

- 1 この問題は4問3ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和 5 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校 保健体育

1 中学校学習指導要領解説「保健体育編」第 2 章について、(1)～(5)に答えよ。

(1) 次は、「第 2 節 各分野の目標及び内容〔保健分野〕 1 目標」である。下の①、②に答えよ。

- (1) ( a )における健康・安全について理解するとともに、( b )な技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい( c )に向けて思考し判断するとともに、A他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて心身の健康の( d )を目指し、明るく豊かな生活を営む( e )を養う。

① a～eにあてはまることばをそれぞれ記せ。

② 下線部 A について、次の文の i にあてはまることばを記せ。

学習の展開の基本的な方向として、小学校での身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容について(中略)科学的に思考し、判断するとともに、それらを( i )他者に表現できるようにすることを目指している。

(2) 次は、「〔保健分野〕 2 内容 (3)傷害の防止」の一部である。下の①～④に答えよ。

- (3) 傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 傷害の防止について( a )を深めるとともに、応急手当をすること。
- (ア) 交通事故や自然災害などによる傷害は、( b )や環境要因などが関わって発生すること。
- (イ)A交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。
- (ウ) 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、( c )によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に( d )することによって防止できること。
- (エ)B応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、C心肺蘇生法などを行うこと。

① a～dにあてはまることばをそれぞれ記せ。

② 下線部 A について、「保健体育編」には、次のような記述がある。i にあてはまることばを記せ。

交通事故を防止するためには、自転車や自動車の特性を知り、交通法規を守り、車両、道路、気象条件などの周囲の状況に応じ、安全に行動することが必要であることを理解できるようにする。

その際、自転車事故を起こすことによる( i )についても触れるようにする。

- ③ 下線部Bについて、出血している部分を覆うことのできるガーゼやハンカチ、タオル等をきず口に直接当てて強く押さえて止血する方法を答えよ。
- ④ 下線部Cについて、心室細動の状態にある心臓に、電気ショックを与えて正常な働きを取り戻すための機器を何というか答えよ。

(3) 次は、「B 器械運動 [第1学年及び第2学年] (1) 知識及び技能」の一部である。  
下の①～②に答えよ。

(1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うこと。

ア マット運動では、A 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、B 条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。

- ① 下線部Aは、2つの技群に分類することができる。それぞれの技群の名称を分けて記せ。また、各技群における「基本的な技」及び「発展技」を一つずつ記せ。
- ② 下線部Bについて、次の文の i, ii にあてはまることばをそれぞれ記せ。

条件を変えた技とは、同じ技でも、開始姿勢や ( i ) を変えて行う、その技の前や後に動きを組み合わせるで行う、手の ( ii ) や握りを変えて行うことなどを示している。

(4) 次は、「F 武道 [第3学年] (1) 知識及び技能」である。a～e にあてはまる語句を、下の①～⑩から一つ選び、記号で記せ。

(1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、( a ) な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、( b ) の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。

ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、( c ) を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。

イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の ( d ) を崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすること。

ウ 相撲では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手を崩し、投げたり ( e ) するなどの攻防をすること。

- |       |         |      |         |
|-------|---------|------|---------|
| ① 継続的 | ② いなしたり | ③ 体力 | ④ すかしたり |
| ⑤ 受け身 | ⑥ 重心    | ⑦ 構え | ⑧ 伝統的   |
| ⑨ 技術  | ⑩ 連絡技   |      |         |

- (5) 次は、「C 陸上競技 [第1学年及び第2学年] (3) 学びに向かう力, 人間性等」である。a～cにあてはまることばをそれぞれ記せ。

(3) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールや ( a ) を守ろうとすること, 分担した ( b ) を果たそうとすること, 一人一人違いに応じた課題や ( c ) を認めようとするなどや, 健康・安全に気を配ること。

**2** 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 陸上競技の「リレー」のルールにおいて、失格とならないバトンの受け渡しの範囲を何というか、記せ。
- (2) バスケットボールにおいて、ボール保持者が味方を壁にして、自分の防御者の動きを止める方法を何というか、記せ。
- (3) 卓球において、フォアハンドとバックハンドで両面を使い分けることができるラケットの握り方を何というか、記せ。

**3** 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 3年生の球技「ソフトテニス」の学習で、サービスを行う際に「ねらった場所に打つことができない」という生徒に対して指導すべきポイントを二つ、記せ。
- (2) 3年生の陸上競技「走り幅跳び」の学習で、「力強く踏み切る」ための練習方法を二つ、記せ。
- (3) 2年生の球技ベースボール型「ソフトボール」の学習で「基本的なバット操作」を習得させるための授業におけるICT機器の効果的な活用例を二つ、記せ。

**4** 次の(1)～(4)について、それぞれ簡潔に説明せよ。

- (1) アダプテッド・スポーツについて
- (2) がん(癌)について
- (3) 剣道の「気剣体」一致について
- (4) 感染症の予防について